

大洲



青空の下 勝利を目指して

がんばる大洲っ子

今月の題字作者

大洲北中学校 1年 (現：大洲北中学校 2年)

ゆ だて な な こ
弓 達 菜 々 子 さん



私が今一番力を入れてるのが、部活動のソフトテニスです。ハードな練習も、好きだからこそ続けることができます。来年の市総体で、レギュラーで優勝という目標を達成するため、「今一瞬全力」を合言葉に日々練習を積んでいます。

最近、父の働く現場を見る機会があり、家で見るとはまた違う姿に、すごいと思いました。また、父から言われることも、私のことを考えてのことだということが分かって以来、私は父を尊敬するようになりました。

将来は、空港で働くグラウンドスタッフなど、得意な英語を生かした仕事をしたいと考えています。そのために、中学生の間に英検準2級まで合格すると目標を立てています。これから何事も「今一瞬全力」で、頑張っていきたいと思います。

【お詫び】
広報大洲10月号15ページでお知らせした、「JA愛媛たいき家の光クッキング・フェスタ」のなかで、定員を1700人と掲載していましたが、170人の間違いでした。お詫びのうえ、訂正させていただきます。

11月の納税など 納期限は 11月30日(月)です。

税 別	11月	12月	1月	2月
市 県 民 税		4期		5期
固 定 資 産 税	4期		5期	
軽 自 動 車 税				
国 民 健 康 保 険 税	5期	6期	7期	8期

市税などの納付は、便利で安心な「口座振替」を。

現在の大洲

	人の動き(先月比)	交通事故(昨年同期)
人口	45,689人 (-33)	件数 133件(118件)
男	21,792人 (-18)	死者 2人(5人)
女	23,897人 (-15)	負傷者 181人(152人)
世帯数	20,259世帯(-6)	

(2015年9月末現在)

CONTENTS 目次

2ページ	がんばる大洲っ子・今月の表紙
3ページ～	(特集) 世界を知り 自分を知る
8ページ～	シリーズ
11ページ	まちのわだい
12ページ～	おおずニュース
14ページ～	おしらせ
25ページ～	図書館・保健センター・ 心と体の健康ガイド
28ページ	がんばるひと (伊予長浜大神輿保存会)

今月の表紙

picture 写真



10月4日(日)、八幡浜・大洲地区運動公園陸上競技場で開催された、平成27年度大洲市民運動会取材しました。

3年ぶりに開催された市民運動会は、すがすがしい秋晴れのもと、全ての競技で熱戦が繰り広げられ、菅田チームが見事優勝の栄冠に輝きました。

なお、市民運動会は、来年度から休止となります。

(特集) 世界を知り 自分を知る

～大洲市中学生海外派遣事業～



写真上段左から
中段左から
下段左から

矢野さん	石川さん	菊地さん	中岡さん
島田さん	中川さん	北野さん	重松さん
智葉さん	山内さん	藤田さん	衣川さん

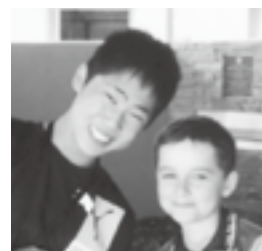
大洲市では、次世代の大洲市を担う中学生を対象に、「大洲市中学生海外派遣事業」を行っています。この事業は、異国の文化や歴史、経済、生活習慣および国民性の違いを肌で感受し、その体験を通して国際的な感覚の涵養と視野を広めることにより、国際化時代にふさわしい人材を育成することを目的に実施されています。今年度は、市内9校、12人の中学生が7月27日(月)から8月10日(月)までの15日間、オーストラリアのケアンズに滞在しました。

現地では、ホストファミリーの家庭でホームステイをしながら自然や多くの人と触れ合い、さまざまな交流を行いました。今月号では参加したみなさんの感想文を紹介します。



今回の海外派遣は、これからの僕の人生にとって言葉に表せないほど貴重な経験となりました。オーストラリアに到着した日、「僕の知っている単語で会話できるだろう」という考えは、現地の小学生と話をし一瞬にして打ち砕かれました。そのため初日はとても不安でしたが、休み時間にスポーツをしたり、本を読んだりして少しずつ距離を縮めることができました。また、ホームステイでは、これぞオーストラリアという豪快な料理の数々に驚きました。休日のドライブでは、車で川の中を走るといって日本では考えられない体験をさせてもらいました。

このように、現地ですさまざまな体験をすることにより、自分の知らない世界を感じ、自らの考えを広げることができました。中学3年生で、海外にホームステイするという極めて貴重な体験をさせてもらったことに本当に感謝しています。この経験をこれからの長い人生に役立てていきたいです。



大洲南中学校
中岡 優友さん

僕は、海外派遣に楽しみと英語をしっかりと話せるのかという不安を持って出発しました。

いざ、オーストラリアに行ってみると、ホストファミリーや小学校の人たちはみんな気さくで、ほとんど不安はなくなりました。しかし、現地の小学生やホストファミリーと会話する時に、聞き取れなかったり、何て答えればいいのか分からなくなって会話が途切れてしまうことが何度もあり、自分の英会話力の未熟さを痛感しました。

また、ケアンズ市内には、日本人がたくさん働いていて、お店で他の国の観光客や現地の人と、とても流ちょうな英語で会話していました。僕は、英語をもっと勉強し、この人たちのように、さまざまな人とつながりあえる人になりたいです。

僕は、海外派遣で多くのことを学ぶことができました。そして、この経験を忘れないようにしていきたいです。



大洲南中学校
矢野 旭人さん

2週間の研修は、発見と感動の連続で、日本とオーストラリアの文化や習慣の違いを肌で感じる事ができた。オーストラリアは国土が広大で豊かな自然にあふれ、現地の人たちはゆったりと心豊かに暮らしていた。時間に追われることなく生活を楽しんでいる様子で、私たちにとてもフレンドリーに接してくれた。

学校生活で一番印象的だったのは、放課後に参加したディスコパーティーだ。大音量の音楽が流れるなか、皆思い思いに踊って楽しんでいた。ノリやはじめ方が日本とは少し違って刺激的で、現地の人は自分を表現することに長けていると感じた。ホストファミリーとは、お互いの国のことなどを話して会話を楽しむことができた。また、自分の意見を相手に伝えることの大切さを教えてもらった。

おおらかで自由なオーストラリアで生活して、丁寧で繊細な日本のよさを再認識することもできた。これからも視野を広げ、自己表現力や国際性を身に付けていきたい。



大洲北中学校
衣川 莉夏さん

私は出発の時に「自分から積極的に行動して現地の人との交流を深める」という目標を立て、オーストラリアへ行きました。

海外派遣生のなかには、英語が得意だという人が多くいたけれど、私はそうではありません。それでもリスニングには、ある程度自信がありました。しかし、現地で生の英語に触れてみると全く理解することができず、自分の未熟さを知りました。聞くことも話すことも難しく、私が困っているとバディも困った表情をして、たくさん迷惑を掛けてしまいました。しかし、遊びなら言葉が分からなくても通じ合うことができ、すごく感動しました。また、英語に囲まれた環境で過ごすことによってだんだんと相手の言うことが分かるようになっていたり、会話もできるようになっていたりして、自分の成長を感じました。

今回の体験を通して私はたくさんの交流を深め、本当に良い経験をさせていただきました。この活動に協力してくださった人たちへの感謝を忘れず、これからは生かしていきます。



大洲北中学校
中川 祈さん

初めての海外派遣で、しかも2週間ということもあり少し不安はありました。英語は好きですが、いざ現地の人と交流してみると、何を言っているのか聞きとりにくいことが多く、聞き取れても何と返せばいいかわかりませんでした。しかし、現地の学校の人もホストファミリーも、私が理解するまでゆっくりと話しかけてくれて、優しい人ばかりでした。私のホストファミリーは、みんな明るく優しく笑顔のステキな人たちでした。初めのころは、何をすることも抵抗がありましたが、生活に慣れてくるとお手伝いを積極的にやったり、たくさん話しかける努力もしたりしました。

毎日生活して第2の家族のような存在だった人たちとの最後のお別れのときは、もう会えないと思うと本当に寂しくて、涙がとまりませんでした。コミュニケーションをとることがとても難しかったのですが、少しずつ会話ができるようになってきたことが本当にうれしかったです。



平野中学校
北野 愛梨さん

今回の海外派遣は、現地の文化や言語など多くのことを吸収し、貴重な体験となりました。特に、楽しいゲームや日常生活の会話の勉強は、頭に入りやすく、自分のためになりました。最初は、つい日本語が出てしまうといったこともありましたが、次第に不意の質問にも自然に英語が出るようになりました。そして、ホストファミリーとの生活でも、自分の気持ちを伝えることが楽しくなりました。

ウォークラリーでは、2週間の成果を生かして、単語がわからなくともジェスチャーを交えた言葉で伝え、なんとかゴールすることができました。これらの活動を通して、コミュニケーションをとることの大切さを改めて感じる事ができました。

この2週間英語に触れることで、ますます英語が好きになりました。世界は広く、自分はその中のちっぽけな存在でしかありません。もっともっと英語を勉強するとともに、国際的感覚を養っていきたいと思います。



肱東中学校
石川 理さん

出発前私は、「生の英語に触れるのが楽しみ」と言いました。英語が大好きで、ある程度自信がありました。しかし、いざ現地の人と話してみると、想像以上に相手の言っていることを聞き取れなかったり、伝えたいことがうまく伝わらなかったりして、ショックを受けました。日が経つにつれ、上達していったように思いますが、自分の英語力の未熟さを思い知らされました。しかし、それと同時に今まで感じたことがないほど強く、「もっと英語を勉強したい」と思うようになりました。

オーストラリアでの毎日は、とても楽しく、本当にあっという間でした。学校の友達との *t i g g y* (鬼ごっこ)、現地の学校での授業、休日訪れたラグーンプール、ホストファミリーとの夕食。挙げ始めたらきりが無いほど、たくさんの思い出ができました。

こうしたかけがえのない経験をさせてくださった全ての人に感謝し、これからもっと学び、また、オーストラリアを訪れたいです。



新谷中学校
藤田 弥帆香さん

僕が、オーストラリアに行きたいと思った理由は、将来英語が役立つ仕事をしたいと思ったからです。僕は人とコミュニケーションをとることが苦手だったので、少し不安でした。しかし、実際に話してみても、速くて聞き取るのが困難でしたが、次第に慣れて少しずつ聞き取れるようになってきました。すると、話すのが楽しくなって、自分から話しかけることができました。また、日本ではあまり使ったことがないジェスチャーの大切さも実感することができました。

今回の体験は、僕にとってとても貴重なものだったと思います。海外派遣に行かせてくれた親に、そして一緒に行った仲間、先生、ホストファミリー、関係者のみなさんには本当に感謝しています。この恩を忘れないようにしたいです。

前の自分と比べて、積極的になったところが成長したところだと思います。これからも人とコミュニケーションをとっていきたいです。



大洲東中学校
菊地 輝旭さん

ずっと行って見たかったオーストラリアで私が一番思ったことは、「言葉が通じなくても心と心で通じあえる」ということだ。オーストラリアでの生活が始まって最初の金曜日、ホストファザーに放課後の学校で開催されたディスコに連れていってもらった。ディスコでは、普段学校で授業を受けている子どもたちが思うがままに踊っているのを見て、衝撃を受けた。ディスコの一部ではサークルができていて、その中心で踊りたい人が踊っていた。私もみんなにおされて踊った。するとたくさんの人が「ナイスダンサー」と言ってくれ心が通った。学校でも新たにたくさんの友達ができ、人との出会いはこんなに素敵なんだと思った。

今回の海外派遣で生の英語に触れ、先生2人を含む13人の素敵な仲間と過ごした15日間は、私の世界を変えるすばらしい経験となった。今でもきらきらと輝いて見える、苦労しながら過ごした2週間のこの貴重な経験を将来に生かし、必ず夢を実現させたい。



長浜中学校
重松 楽々さん



長浜中学校
島田亜悠菜さん

ケアンズに到着し、見るもの全てが新鮮でわくわくした気持ちでした。私は、いざ現地の人たちと英語で会話をしようと思っても話を理解することができず、少し不安になりました。しかし、ゆっくりと何度も話をしてもらい毎日の会話がとても楽しいものになりました。話しかけてくれた時もうれしかったけれど、そのこと以上に言いたいことが伝わり、会話ができたととてもうれしかったです。

また、私のホストマザーは優しくフレンドリーな人で、休日にはワラビーを見に行ったり買い物へ連れて行ったりしていただきました。別れの時には出発する直前まで一緒にいてくれて、私は別れるのが辛かったです。振り返ると本当にこの2週間がとても短く感じました。

この体験をこれからの生活に生かし、今まで以上にたくさんのことを学んで、いつかもう一度ケアンズを訪れたいと思います。今回、このような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

野生のカンガルーに七面鳥。広い庭に大きな家。お昼は毎日ハンバーガー、野菜が少なく高カロリーな食事。昼食の時間が二回あり、食べ歩き自由。ホームステイ先では、自由時間が多く、寝る時間が早いこと。日本とは違う食文化や生活習慣に驚くことばかりでした。

出発前は、自分が話す英語が伝わるか不安でした。でも、バディやホームステイ先の家族との会話はとても楽しく、現地の学校で英語を楽しく学ぶことができました。自分から積極的にコミュニケーションをとることが大切だと改めて感じました。自分の英語力では理解できないこともたくさんあったので、もっと勉強し、話す力、読む力、聞く力、書く力をつけていきたいです。

楽しかった15日間はあっという間で、心に残る貴重な体験となりました。このような経験をさせていただいたことに感謝し、この体験を生かして、今後の学校生活を充実させ、将来の夢につなげていこうと思います。



肱川中学校
山内 瑠菜さん



河辺中学校
智葉 瑛海さん

オーストラリアで学んだことは、人との関わり大切さです。最初は中学生同士仲良くなれるか不安だったけれど、たくさんの友達ができました。現地では、初めてホストマザーにあったとき、これからうまくやっていけるか自信がありませんでした。しかし、笑顔で受け入れてくださって、それまで抱いていた不安も一瞬で消え、それからのホームステイもとても充実したものになりました。学校ではバディがつき、休み時間には遊びに連れていってくれたり、声をかけてくれたり、英語が分からない私を親切にサポートしてくれました。

多くの人の支えで、この15日間は私にとって素晴らしいものになりました。きっと一人では、こんなに楽しく、忘れられない時間を過ごすことはできなかったと思います。本当に感謝しています。今後の生活の中でも人と人とのつながりを大切にしたいです。

最後に、このような貴重な機会を与えてくださったみなさん、ありがとうございました。

今年度の海外派遣事業に、団長として参加する機会を与えていただきました。市内全ての中学校から参加した生徒12人と引率教諭の総勢14人は、ケアンズで有意義な研修を行ってきました。ケアンズは、オーストラリア北西部に位置する人口約16万人の観光都市です。この時期は冬ですが、寒すぎず暑すぎず、大変過ごしやすい毎日でした。現地の人も「ベストシーズン」と呼んでいて、多くの観光客が訪れていました。



団長
河辺中学校
校長 小倉 和芳

私たちを受け入れてくれたWOREE STATE小学校は、市内から車で10分ほどの住宅街にある広々とした学校で、先生たちはとても親切でした。子どもたちも「コンニチワ」と声を掛けてくれたり、手を振ってくれたり、とてもフレンドリーでした。そのおかげで、最初は緊張していた生徒たちもすぐに打ち解け、スムーズな交流が行えました。日が経つにつれて、笑顔で会話を交わす姿が増えました。

この研修で私が一番良かったと感じたことは、体験を通してさまざまな事を感じ取れたこと、それと同時に外から日本のよさを再認識できたことです。これは国際化が進む社会を生きるこれからの子どもたちにとって、非常に大切なことだと思いました。メディアやネットからの情報だけでは分からない「本物」を知ることができました。この機会を与えていただいた大洲市・大洲市教育委員会、そして柘山教育振興会のみなさんには心から感謝申し上げますとともに、今後ともこの事業が継続されますことをお願いいたします。このたびは貴重な学習の場を与えていただき、本当にありがとうございました。



引率
長浜中学校
教諭 下岡 史明

オーストラリアのケアンズで2週間とても素晴らしい体験ができました。日本と違う文化、環境、言語に触れることで、多くのことを学ぶことができました。

平日、私たちはワーリーステイトスクールという小学校にお世話になりました。小学校では、まず午前中は語学研修で、英語の授業を受けました。当然、すべて英語で授業が進められ、生徒たちも最初は緊張した様子でしたが、英語の歌をいっしょに歌ったり、ゲーム形式での対話活動を行ったりする中で緊張もほぐれ、楽しく活動することができました。2週目には積極的に英語で発言する場面もどんどん見られるようになり、生徒たちの成長の様子には、とても驚かされました。

それぞれ生徒には小学生のバディがついて、いろいろお世話をしてくださいました。ワーリーステイトスクールの小学生はとてもフレンドリーでどんどん話かけてくるので、理解できない英語もたくさんあったはずですが、ジェスチャーや絵などを使ってコミュニケーションをとり、すぐに仲良くなりました。そんな様子を見ていると、コミュニケーションにおいてまず大切なことは相手のことを知ろうとする気持ち、相手に伝えようとする気持ちだと感じました。生徒にとっては、わずか2週間の小学生との交流でしたが、いつまでも彼らの笑顔が生徒の心に輝き続けることなのでしょう。



派遣生のみなさんが出発前に抱えていた不安は、迎えてくれた人たちの温かさにより、次第に楽しさへと変わっていきました。また、今まで見聞きしていた事を実際に肌で経験することにより、期待や自信が打ち砕かれたこともあったようです。日本とは全く異なる生活環境のなかで、一人ひとりが感じ、考え、行動に移すことによって自分の課題を乗り越え大きく成長したことが、感想文からうかがう事ができます。

今回の貴重な体験を糧にして、派遣生のみなさんが世界に羽ばたく人材となることを願います。

今回の海外派遣の様子は、河辺中学校ホームページにアップされています。

河辺中学校
(<http://kawabe-j.esnet.ed.jp/>)

→ H27河中日記カテゴリ一覧
海外派遣